

第5号様式(第7条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度清須市保健福祉計画策定委員会（障害者部会）
開催日時	令和4年10月31日 月曜日 午後2時00分から2時45分まで
開催場所	清須市清洲総合福祉センター 2階 第1会議室
議題	第6期清須市障害福祉計画・第2期清須市障害児福祉計画について
会議資料	第6期清須市障害福祉計画・第2期清須市障害児福祉計画 進捗状況について
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	時田委員、山口委員、太田委員、田中委員、渡辺委員、高橋委員、伊藤委員、石原委員、近藤委員、戸田委員（オブザーバー）
欠席委員	2人
事務局	〔健康福祉部〕 加藤部長 〔社会福祉課〕 鈴木社会福祉課長、石黒障害福祉係長、秋田主任、岡本主事
会議の経過	<p>1 開会 (事務局) 定刻となりましたので、ただ今から令和4年度清須市保健福祉計画策定委員会（障害者部会）を開会いたします。 私は、本日、司会を務めます健康福祉部社会福祉課長の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。 初めに本日の出席状況についてご報告させていただきます。 恐縮ですが、以降、着座にて進行させていただきます。 はじめに、本日の出席状況についてご報告いたします。 本日は、加藤委員と近藤委員が所用によりご欠席とご連絡をいただいておりますので、ご承知いただきくださるようお願いいたします。 次に、健康福祉部長の加藤からご挨拶申し上げます。 (事務局 加藤部長) ～あいさつ～ (事務局) これより議事に入りますが、ここで議事運営につきまして、お願いを申し上げます。 会議での発言方法ですが、会議で発言していただく際には、必ず挙手をしていただき、会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ちいたしますので、マイクを通じてご発言いただくといった形でお願いしたいと存じます。 それでは、この後の会議の進行は時田部会長にお願いしたいと存じます。 よろしくお願いいたします。</p>

(時田部会長)

みなさんこんにちは、部会長の時田です。議事進行にご協力の程、よろしく願いいたします。

議事に入ります前に、会議録署名委員のご指名をさせていただきます。

本日の会議録署名委員は、山口委員と太田委員にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

2 議事

それでは、本日の議事に入ります。

議事(1)「第6期清須市障害福祉計画・第2期清須市障害児福祉計画の進捗状況について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料について説明】

(時田部会長)

ただ今事務局から説明がありました。内容についてご意見、ご質問があればよろしく願いいたします。

(高橋委員)

はい。

(時田部会長)

高橋委員。

(高橋委員)

1 ページのところ、前年比較で112人増えて3.6%ほど全体で増えてる、内訳はともかく、一番大きいのはやはり身体のほうが一番増えている。それに関連して3ページ、障害福祉サービスの状況で一番大きいのは全体の前年比で55人の増ということで11%強伸びてるのと地域生活支援事業の表が載っている、児童通所についても先ほど説明のあった支給決定で21人増えてる。関連してその下(2)の障害福祉サービスの進捗状況の中で、額が、令和3年度の実績値が1億3千万、今年度の見込みが1億5千5百万と金額でいうとかなり伸びている。この原因は、コロナの起因するところが大きいというご説明がありました。ずっと、その関連で、7ページの共同生活援助、グループホームの関係、額的にはでかいということで実績値が7事業所から8事業所になってひとつ増えていることもあり、これ非常に額がでかいので、約8千百万ほど事業費としては伸びている、59%ほど伸びているので、この中で実績値が7件から見込みが8件になっておるんですけど、まず市内の開設事業所数は直近でこの8事業所から増えている見込みがあるんですかね。8より増えるというか。

近隣の事業所で取り巻く事業所はいいんですが、清須市内の事業所、現在は7件で、見込みは8件でプラス1件なので、その他に計画はあるんでしょうか。今分からなくてもいいんですけど。

(事務局)

今現時点でグループホームは7件となっております。令和4年度中に1か所、地区でいうと新川地区に1か所開設するというふう聞いております。今後の開設については、基本的に事業所のほうが県のほうに指定をとるというふうな流れになっておりまして、今現時点で清須市のほうにどこか開設するというふうには聞いてないです。

(高橋委員)

そういうことで1件増えるということで、かなりの見込み額があがるので、おそらくここが一番大きいと思うので、全体の内容を見ると、

見込みは8だけど認可申請等の関係があるかと思ってお聞きしました。ありがとうございます。

(時田部会長)

そのほか、何かよろしいでしょうか。

はい、田中委員さん。

(田中委員)

よろしくをお願いします。まず13ページの移動支援についてですが、移動支援がコロナによって外出控えによって利用者数が減っているところ、確かにそのとおりだと思っているのですが、そもそもヘルパーさんが不足している、ヘルパー事業所が足りないという実態があるのではないかと考えていて、特にこれは全国的な問題だとは思いますが、男性ヘルパーさんがいないということで同性介助が難しかったりする。男性の方で外出するのにトイレも行き男性のヘルパーさんについてきてもらいます。十分に余暇活動に利用できる事業所があるのか、そういう人材がいるのかということかなり厳しいところがあって、コロナで1回事業所側に断られてということもあるし、ご本人様、ご家族様が心配されて利用を控えるということがすごく多いと思いますが、通常通りの利用量に戻るといった現状分析ですが、そう簡単に戻せるのどうかといったところが心配、社会資源の問題で心配をしています。通常通り戻ればいいなというふうに思います、というところが1点とあと1点。

8ページのペアレントトレーニングに関してのところですが、前回は質問させていただいて今回も大変丁寧な説明ありがとうございました。ペアレントメンターの活動について保護者が同じような保護者に対して助言をするといったような、本当に地域の支えとなる核となるような部分なので大変大切だと思っているのですが、1名の予定となっていてできるのかなど、本当は地域に根ざしたものを作っていくとしたら、今は計画値を決めるところではないのでひとつの意見ですが、本当は複数でペアレントメンターとして清須での核となる組織を作っていくというような形でのペアレントメンター養成というのを、県の研修会に行くことはひとつ第一歩だとは思いますが、それだけで1人派遣しただけでペアレントメンター育成ができるのかは甚だ疑問に思いますので、前回お話をさせていただいたことと重なりますが、既存の親団体活用していただいて、先程言われたように子育て支援課とも連携していただきながらやっていただきたいと思います。質問については以上です。

(時田部会長)

最初の移動支援の部分、事務局からお願いします。

(事務局)

ご質問いただきました移動支援について、確かにヘルパー事業所で人が不足しているという話を聞いているところではあります。委員おっしゃられた同性のヘルパー、男性のヘルパーは不足していることも聞いております。今回、見込みとしまして通常通り戻るというふうに分析はさせていただいたところではありますが、今の現状を確認、調査させていただいて、次期計画の方に反映させていただきたいと思っております。

(時田部会長)

もう1つ、ペアレントメンターの件もお願いします。

(事務局)

ペアレントメンターの養成の件、県の研修会の方に参加していただき年々、2人、3人ということで増えていって、相談に乗る方が増え

ていって相談しやすいような体制づくりというふうを考えております。なかなか、お一人で抱えるのは難しいというような状況とは思いますが、なるべく多くの方で支援していけるようなことを考えております。以上でございます。

(時田部会長)

他に何かよろしかったでしょうか。渡辺さんよろしく願います。

(渡辺委員)

渡邊です、よろしく願います。

7ページの自立生活援助のところ、計画では1とありますが、ここ無いということですかね。ここから私たちの世代になってくると親が亡くなってしまっていることはすごくあって、グループホームのほうにも入れない、入所も難しいとなると、ひとりの生活ということも十分考えられていくことなんですね。自立生活に援助をしてもらうところをもっと増やしていかれて、社協さんがやってやってみえる日常生活支援事業でどれだけ関わられているかということは把握してないので分からないのですが、福祉サービスでこういうことがあるならば、事業所のほうも、今は0なのでなんとも言えないのですが、増やしていただければいいのかなと思います。1人で生活生活していくためにはこういう援助が必要ではないのかとすごく考えます。

それから、福祉サービスの受給者証の更新は誕生日が来ると更新といこうことで1年で更新なんですね、障害者の程度区分障害者区分は3年に1回見直しということで、医師の診断書であったり個々の面接をやっているとありますが、3年に1度ではないですが、更新はそれなりに1年でやっていく必要があってなんでしょうか。1年というとすぐきますが、それに伴い計画相談というのも重なってくるので、見直しとかそういった問題とかもあるのですが、受給者証の更新がすぐ来るなど感じます、何枚も書類を書いて本人はできないので親などが書きますが、これはサービスを受けるうえで必要なことなのは分かっています。1年で早くきちゃうなという実感です。

(時田部会長)

なかなか難しい問題ですね。その他よろしいでしょうか。田中さんどうぞ。

(田中委員)

この進捗状況と関係あるか分かりませんが、策定の見直しが7期が始まると思いますが、それにあたっての意見です。

ヒアリングに関してですが、前回これの策定のためのヒアリングの時には、アンケート用紙を各団体に配布をして、団体で話しあったものを出してという形でさせていただいたのですが、それはコロナ禍ということもあったかと思いますが、その前の策定の際にはグループワークをワークショップ形式でやっていただいて、いろんな立場の方のお話が聞けたものですから、できるだけどんな形か分かりませんが、生の声が聞いていただけるような形のヒアリングを希望しました。

この策定委員会のメンバーについてですが、実際の福祉サービスに携わっている方側の方、サービス提供者の側の出席はお願いできないのかなと、他市の委員さんたちをみると、例えば豊山さんですと、NPO法人太陽さんが入っていたり、稲沢支援学校の先生が委員にみえます。北名古屋でいいますと、太陽さん入ってみえて、稲沢特別支援の教頭先生がみえて、あとは児童発達支援事業所ひまわり園西園、尾張中部障害者就業生活支援センターさんとか、福祉の杜さんとか、サー

ビスのこの細かい実際にどんなサービスが行われていて足りてないとかといったことを普段から把握してみえる方が参加されるとよりこの話し合いが実があるものになるのでないかと思いました。名前としては福祉関係者というふうで要綱に名前を入れてみえるところがありました。ここの地域でいいますと、地域アドバイザーが尾張中部福祉の杜になりますので、ご意見いただくとかご検討いただけないかなと思います。

(時田部会長)

今、次回の次年度の策定するときの委員、メンバーについてのご意見でございましたので、事務局のほうでそのあたり詳細に精査をしていただいてご検討願いたいということですのでひとつよろしく願います。

そのほか何かよろしいですか。伊藤先生よろしく願います。

(伊藤委員)

進捗状況ではなく、情報提供で手を挙げました。さきほど、渡辺委員さんが自立生活援助に関連して、親なき後のことを意識した障害のある方々の一人暮らしや地域生活のお話をされたと思いますが、今年度事業ですが愛知県がモデル事業をしております。どのようなモデル事業かといいますと、地域生活を体験してみる、地域生活体験モデル事業という言葉を検索していただくと愛知県のホームページが出てくると思います。今よく厚生労働省がやっている福祉計画では施設にいる人の地域移行という形での地域生活移行とすごくしておりますが、この愛知県の地域生活体験モデル事業のすごいと思うところは、今親元で親と一緒に暮らしている人も一人暮らし、施設に入らず一人暮らしできるような体験を無料でしております。もちろん外出する際の交通費だとかヘルパーさんと一緒に外出して外食してみましよう、であったり自分で調理する場合は買い物にいきましようといった場合はお金は実費になりますが、体験をするにあたっての利用料は無料つといった1泊2日から4泊5日までできるという体験事業を今しております。今、施設に入っている人が施設を出て体験することもできますし、障害児の入所施設に入っている人が体験することもできますし、今親元で一緒に暮らしている人がひとまずヘルパーさんと一緒に1泊2日地域生活を体験してみることもできます。場所は基本的に名古屋市内ですが、すでに名古屋市外の方、例えば田原市の人や、豊田市の人が、名古屋市でない方が実際に申し込みをして、利用して、ヘルパーさんは探さなくもいいです、モデル事業側がヘルパーを用意する、そのヘルパー利用料も無料です。もちろんコロナもあって実質的にはできません、延期しましたというような例もあるのですが、地域生活体験モデル事業は愛知県が単年度で今年2年目ですが、しているのですぐ利用できるかは分からないですが、そういったものをご活用いただくことはひとつかと思いました。そもそもどんなものか分からないから利用できないといった場合、どういうプログラムなのかを説明する出前講座もやっています。体験プログラムをするコーディネーターや、実際に施設に入っていた人で自立生活体験をして今実際に地域生活をしてます、どうしても身体障害の方が多ですが、実際に地域移行した人自身も自分の体験をお話ししに出前講座をするといった事業もしているのです、もし親の会さん等に来てくれないかと言われたら、たぶん行きますとっていただけないのではないかと思いますので、そういったものもご活用されるといいのではないかと思います。

(時田部会長)

	<p>ありがとうございました。ひとつその辺参考にしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>他に何かございますでしょうか。では、今日オブザーバーとして清須保健所のほうから来ていただいておりますので何かご意見ございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>(戸田オブザーバー)</p> <p>清須保健所の戸田です。今までのお話を伺っておりまして、計画が概ね計画通り進捗しているような感じを受けまして大変勉強させていただきました。また、委員さんのご意見をお伺いしてこうした考えがあるんだなということも合わせてお伺いすることもできました。障害福祉サービスに今幅広いメニューがあると思っておりまして、訪問系や日中活動系、あとグループホームや地域移行、就労移行と非常に幅の広いメニューがある中で、バランスよく進捗するにはどうしたらいいのか考えながら聞いていたのですが、ひとつはニーズを把握することが大事なのかなと思っておりまして、先ほど委員さんがおっしゃられたいろんなご意見というのは、この数字に表れてこない部分で、田中委員さんの次期の見直しにあたっては生の声というか、サービス提供者側の方にも入って欲しいといった意見、非常に大事なことだなと聞いておりました。ただ、この計画の進捗の中でやはり一部コロナ禍の影響で実施ができなかったことや、実施はしているが実際の中身、例えば活動系のサービスが例えば地域移行ですとか施設系のサービスの中のメニューで実施できないことも数では現れない部分で含まれているのではないかと思う部分です。時代に合わせて、ウィズコロナに合わせて中身の部分での充実も考えていかなければならないかと思っておりました。また、ペアレントメンター養成やピアサポートもコロナ禍で実施ができなかったり、本当はもう少し充実すべきテーマなのかなと感じておりました。ハード面だけでなくソフト面の充実も今後実施されるとよりよい本計画の推進になるのではないかと思います。</p> <p>(時田部会長)</p> <p>ありがとうございました。これで本日予定していた議事についてはこれで終わりとなります。</p> <p>何か事務局の方からございますでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日は大変多くのご意見、情報提供いただきましてありがとうございました。来年度につきましては第4期清須市障害者基本計画、第7期清須市障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の策定作業を行います。これまでの策定員会でいただいたご意見、それからご報告いたしました内容を参考に本市の状況に即した計画策定につなげていきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、今後とも何かとお世話になることと存じますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>3 閉会</p> <p>(時田部会長)</p> <p>それでは、令和4年度清須市保健福祉計画策定委員会障害者部会を終了いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
問 合 せ 先	<p>健康福祉部 社会福祉課 電話 052-400-2911 (内線1515、1514)</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署 名 委 員 山 口 富 美 代

署 名 委 員 太 田 良 治